

片瀬イラスト遺産

懐古

八十年

絵と文

金子繁治

⑧【浜辺納涼映画】

夏の風物詩の一つ。

夜の東浜納涼映画を思い出します。
夏休みの宿題が気がかりながら、夕飯もそこそこに浜へ一目散。日中焼きに焼いた肌には天然クーラーの夜風が心地よい。

ところがここに突然邪魔者が侵入。
毎度葉山御用邸沖に停泊中の御召艦長門が護衛のために照射するサーチライトが海辺のスクリーン一杯に当って映画は真っ白。観衆は一斉にとよめいて映画はしばし中断。

暗闇が戻ってきてきて観衆は溜息をつきながら空を仰ぐ。大きな天の川が星空を突き破って南へと流れている。
あ、流れ星。皆、もう映画を忘れてる。

